

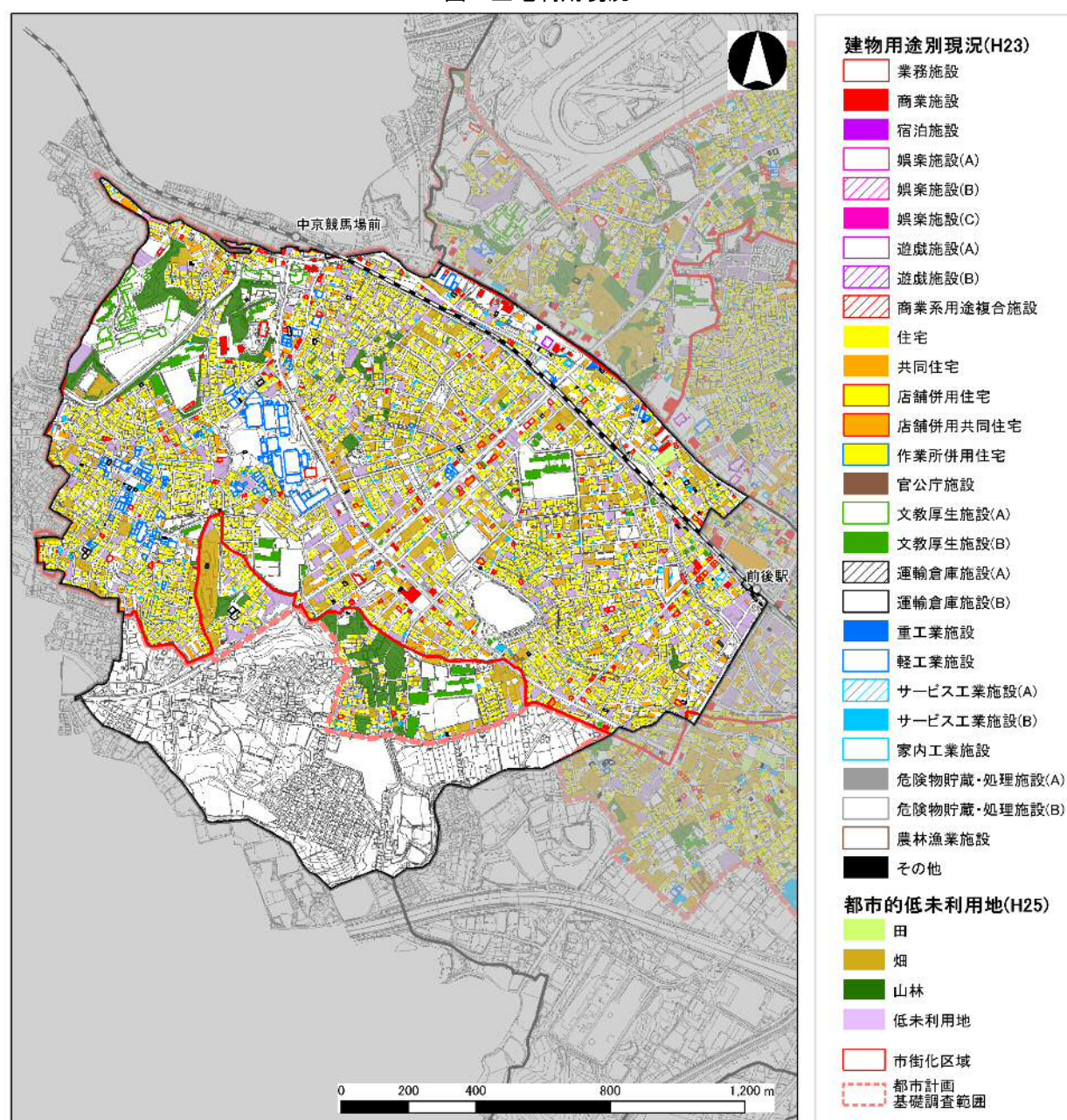
館・栄小学校区

1 地域の概況

(1)土地利用

- 文教厚生施設が多くみられます。また、市街化区域内においても山林がみられます。
- 栄町では、住宅地と工業地が混在しています。
- 商業施設は、前後駅周辺や(都)国道1号東線及び(都)大根若王子線の沿道に立地しています。

図 土地利用現況

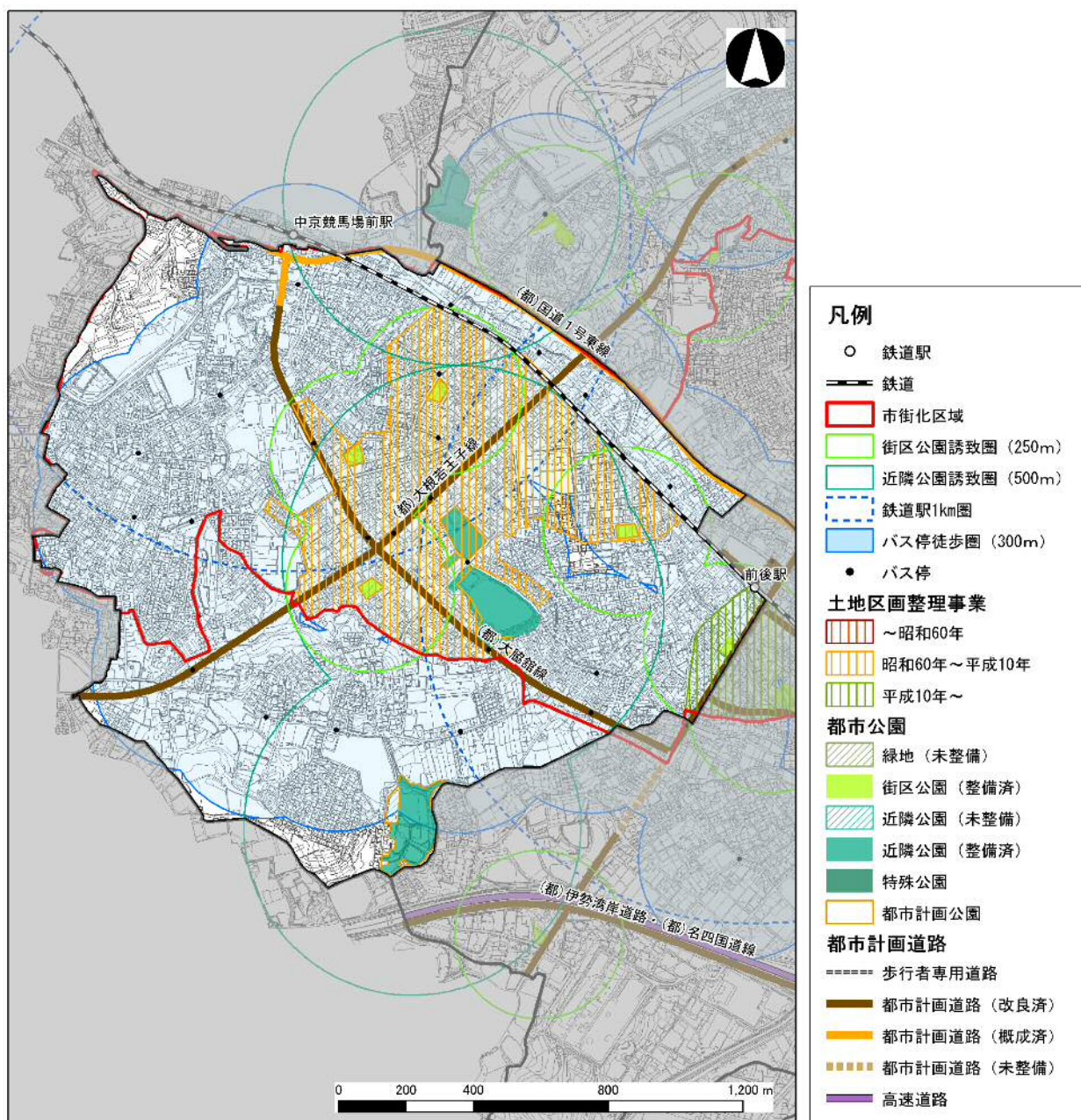


資料：平成23、25年度都市計画基礎調査

(2) 都市基盤

- バスの利用圏（半径 300m）に地域のほぼ全域が含まれています。
- 土地区画整理事業が行われた範囲では、都市公園が整備されていますが、その他の地区では、公園が整備されていません。
- 都市公園については大原公園の一部で未供用部分が残っていますが、それ以外は供用されています。
- 都市計画道路では、(都)国道1号東線や(都)大脇館線の一部区間が概成済となっています。

図 都市基盤整備状況



資料：豊明市

(3)人口等

- 平成18年から平成28年にかけて、栄町では人口減少がみられますが、地域全体では、人口増加となっています。
- 高齢者割合は新栄町で市平均24.8%（平成28年住民基本台帳）を下回っていますが、地域全体では、市平均を上回っています。

表 地域内の人口と高齢化の状況

町名	H28人口	H18人口	人口増減数	H28高齢者	高齢者割合
栄町	11,183	11,490	-307	3,334	29.8%
新栄町	6,033	5,665	368	1,252	20.8%
前後町	581	528	53	152	26.2%
合計	17,797	17,683	114	4,738	26.6%

※各町の人口等は本地域分を計上

資料：住民基本台帳

図 H18～H28 人口増減

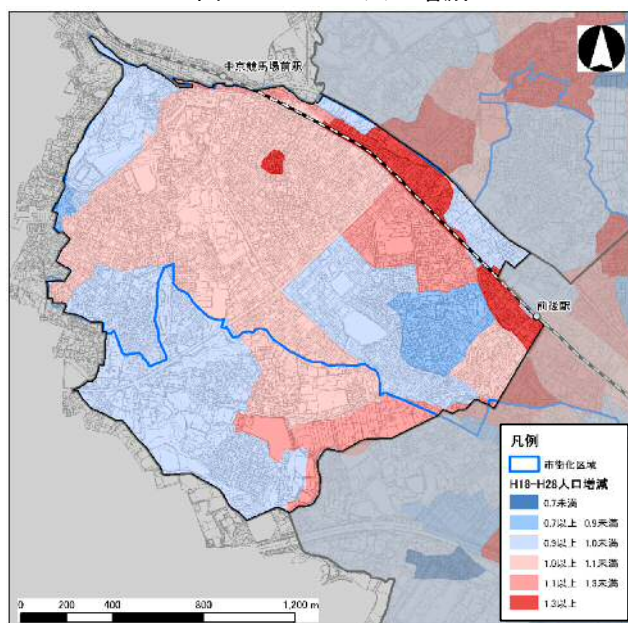
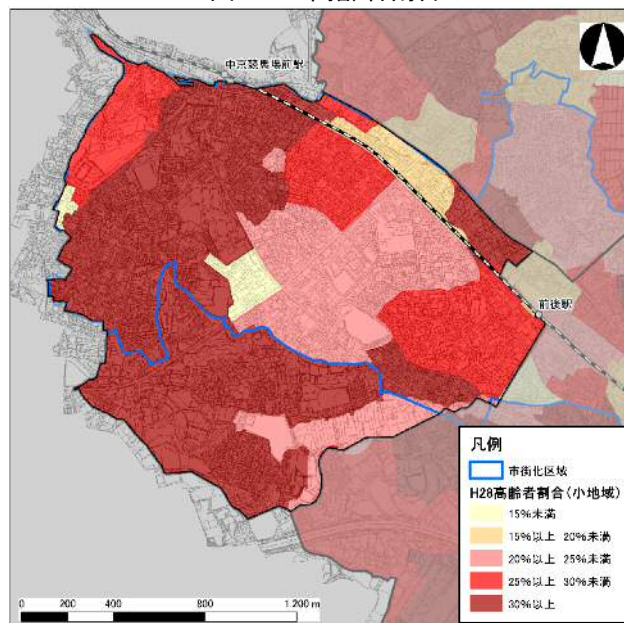


図 H28 高齢者割合



資料：住民基本台帳

2 地域の魅力と問題点

地域別ワークショップで出された意見をもとに、本地域におけるまちづくり上の魅力と問題点を整理します。

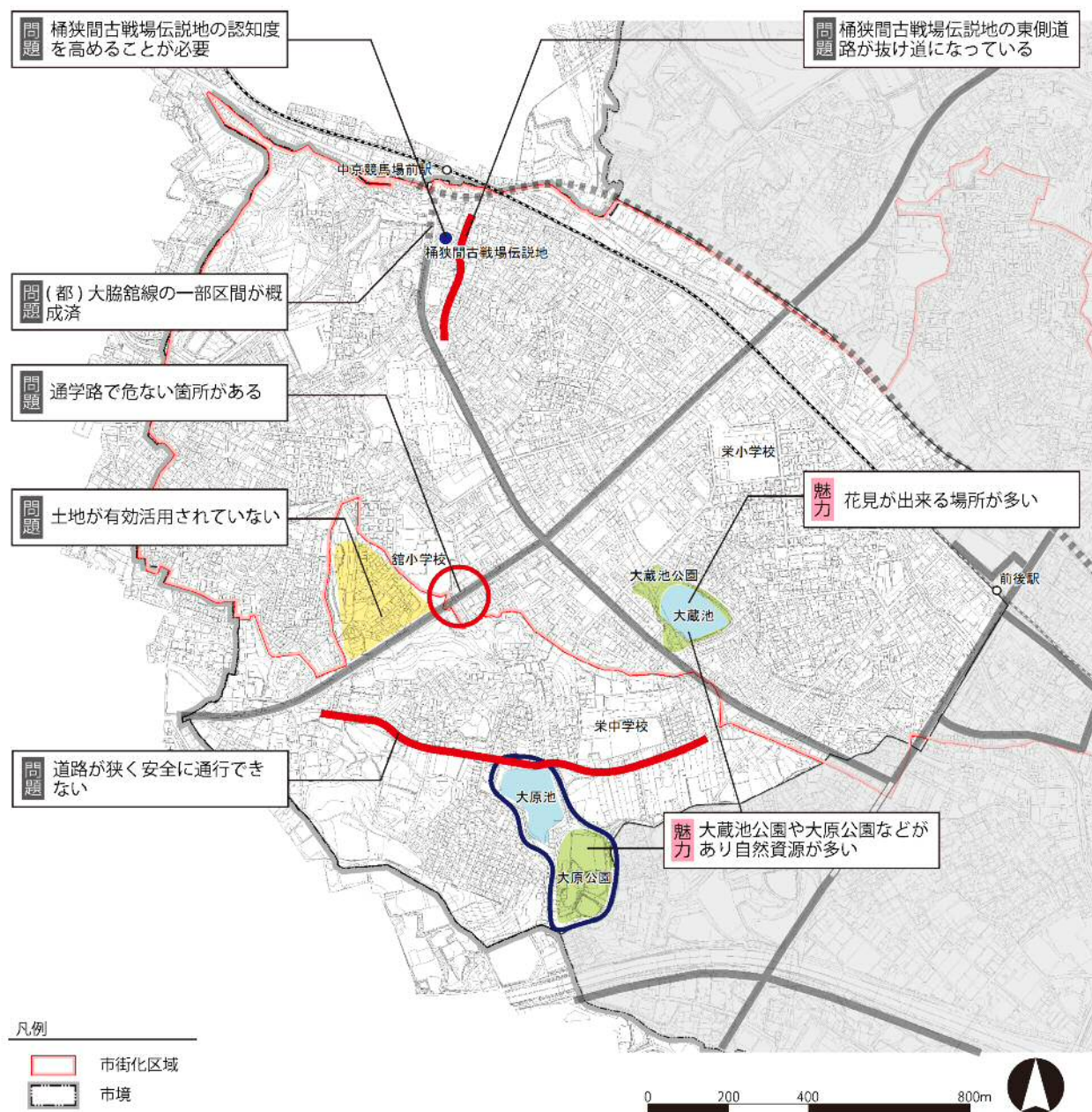
(1)地域の魅力

- 前後駅と中京競馬場前駅があるため、公共交通の利便性が高く、また、商業施設や医療施設、公共施設などがそろっており、生活利便性が高くなっています。
- 大蔵池公園及び大原公園などの自然資源が多くあるとともに、桶狭間古戦場伝説地などの歴史文化資源も分布しており、魅力の多い地域となっています。

(2)地域の問題点

- (都)大脇線の中京競馬場前駅周辺の区間が概成済となっています。
- 幹線道路などで渋滞が発生することにより、周辺的生活道路や農道において通過交通が多くなっていることから、特に通学路における歩行者の安全確保が必要です。
- 公共交通の利便性は高い地域ではあるものの、高齢者の増加を見据え、地域住民の移動需要を確認し、誰もが利用しやすい交通体系づくりが必要です。
- 桶狭間古戦場伝説地について認知度を高めるため、市内外へ広く情報発信することが必要です。
- 今後の高齢者の増加を見据え、高齢者をはじめ誰もが元気で活動的に暮らせるまちづくりを進める必要があります。
- 商業施設が少なく地形に高低差がある地域等において、高齢者の買い物支援のしくみについて検討を進めます。
- 今後、増加が予想される空家について、防犯や防災などの観点から、管理や活用を進めるため、空家対策の検討が必要です。

図 主な地域の魅力や問題点



3 全体構想における位置づけ

(1) 将来都市構造

- 都市拠点に位置づけられている前後駅周辺があり、当該拠点では公共交通結節点としての機能強化を図るとともに、商業・業務等の都市機能の集積を促し、本市の玄関口にふさわしい活気と魅力ある拠点形成を図ります。
- 歴史と文化の交流拠点に位置づけられている中京競馬場前駅周辺があり、当該拠点では地域拠点として日常的な生活サービス施設等の立地を誘導し、地域住民の暮らしを支える拠点の形成を図るとともに、本市の歴史・文化を広く発信し広域からも多くの人が訪れ、多様な交流が育まれる拠点の形成を図ります。

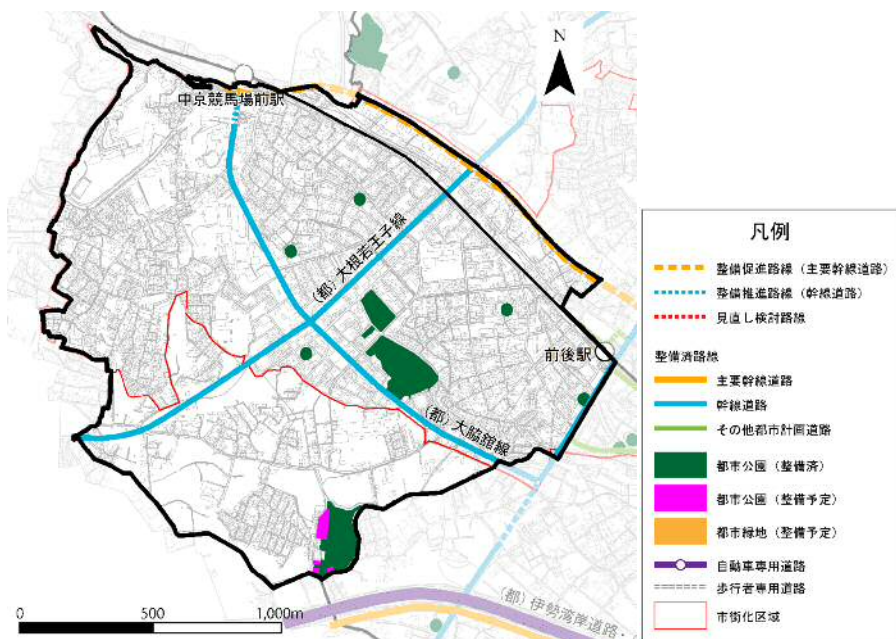
図 本地域の将来都市構造図



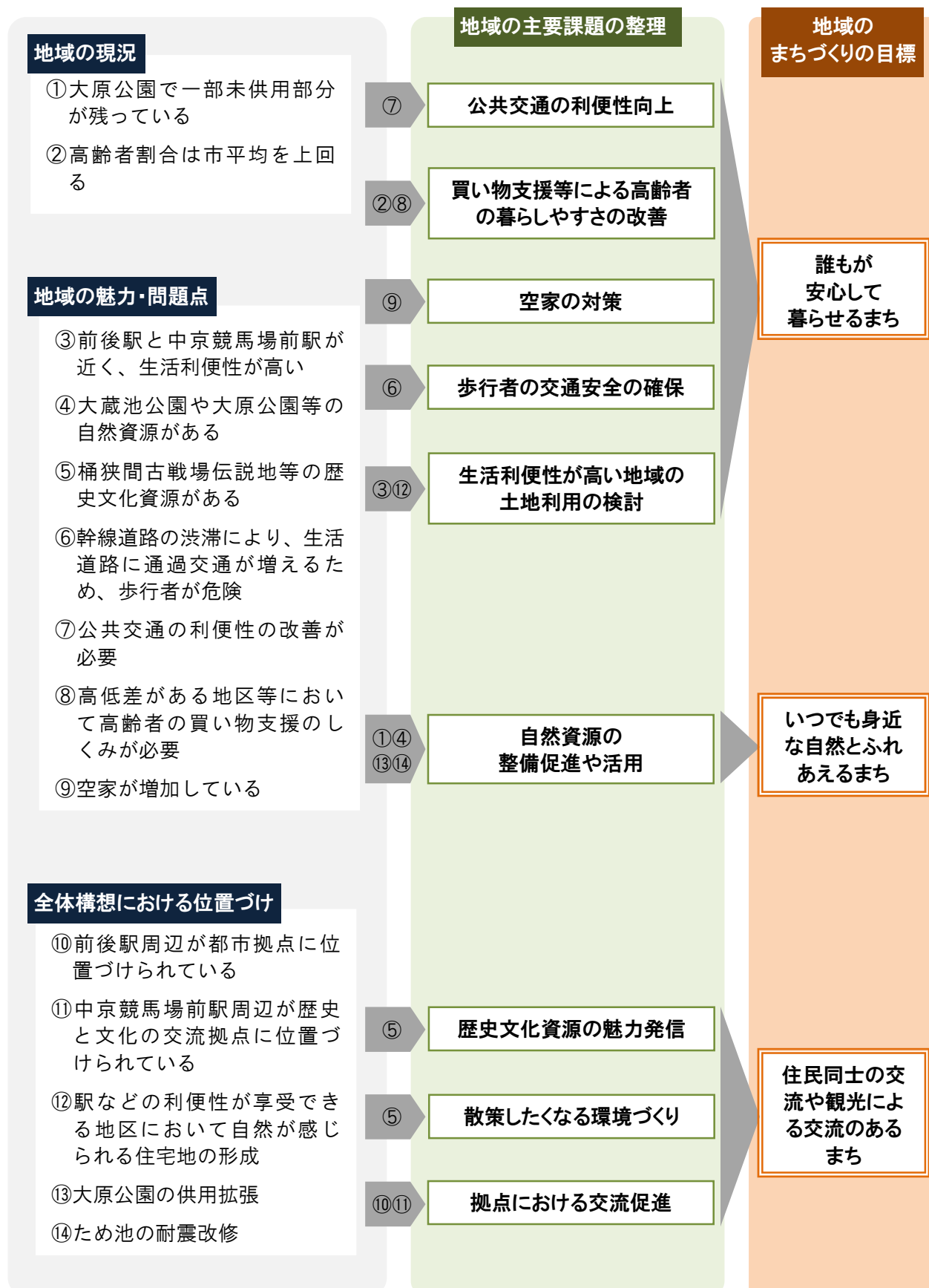
(2) 主な都市づくりの方針

- 大原公園の供用区域の拡張を進めます。
- ため池の堤防決壊による水害を防止するため、耐震化を進めます。
- 中京競馬場前駅南側の栄町南館など都市基盤施設が未整備な低層戸建住宅地では、都市基盤施設の改善を図りつつ、現在の土地利用を維持し、安全で快適に暮らせる住宅地の形成を図ります。
- 継続して古戦場まつりを開催するとともに、桶狭間の戦い進軍ルートなどを活用した観光ルートの設定とその周知を図ります。
- 歴史的な趣が感じられる道標の設置等、観光ルートの整備を進めます。

図 本地域の幹線道路、公園・緑地の整備方針図



4 地域の主要課題の整理



5 地域のまちづくりの目標と方針

本地域の魅力と問題点を踏まえ、本地域がめざすまちづくりの目標を以下のように定めるとともに、その実現に向けたまちづくりの方針を示します。

地域のまちづくりの目標

誰もが安心して暮らせるまち

本地域では、交通安全対策や、買い物支援や公共交通の利便性の向上等による高齢者の生活利便性の確保等により、誰もが安心して暮らせるまちをめざします。

行政が主体的に取り組む地域のまちづくりの方針

- 通過交通が多い路線や学校の周辺では、歩行者の安全で円滑な移動確保のための道路整備や自動車の走行速度の抑制などの交通安全対策を進めます。
- ひまわりバスなどによる利便性の高い公共交通ネットワークづくりを進めます。

住民と行政との協働による地域のまちづくりの方針

- 中京競馬場前駅に近く生活利便性の高い西大根地区において、多様なニーズに対応した住宅地の形成を図ります。
- 高齢者が増加している地区では、地域住民と行政が協力して健康遊具の設置等、多世代が利用できる公園の整備について検討するなど、地域の実情に応じた施設などへの更新を進めます。
- 商業施設が少なく地形に高低差がある地区等において、高齢者の買い物支援のしくみづくりについて検討を行います。
- 空家の庭木や雑草の管理などの空家に関する問題への対応策の検討を行います。

【参考】住民が主体的に取り組む地域のまちづくりの方針

- 地域で高齢者を支えるため、子どもと高齢者の交流の場づくりや、見守り隊の拡大、一人暮らし高齢者の実態調査などの取組みの検討を行います。

地域のまちづくりの目標

いつでも身近な自然とふれあえるまち

本地域では、大原公園や大蔵池公園などの自然資源を活かし、いつでも身近な自然とふれあえるまちをめざします。

行政が主体的に取り組む地域のまちづくりの方針

- 大原公園の供用区域の拡張を進めます。

住民と行政との協働による地域のまちづくりの方針

- 市民緑地の維持や地域の緑化について検討を行います。

地域のまちづくりの目標

住民同士の交流や観光による交流のあるまち

本地域では、桶狭間古戦場伝説地をはじめとした歴史文化資源等を活かし、住民同士の交流や観光による交流のあるまちをめざします。

住民と行政との協働による地域のまちづくりの方針

- 桶狭間古戦場伝説地の魅力向上のため、歴史的な趣が感じられる道標の設置など観光ルートの整備を進めるとともに、とよあけ桶狭間ガイドボランティアや関係自治体のイベントとの連携を通じて知名度の向上を図ります。
- 住民同士の交流の場として、サロン等の設置を検討します。

